

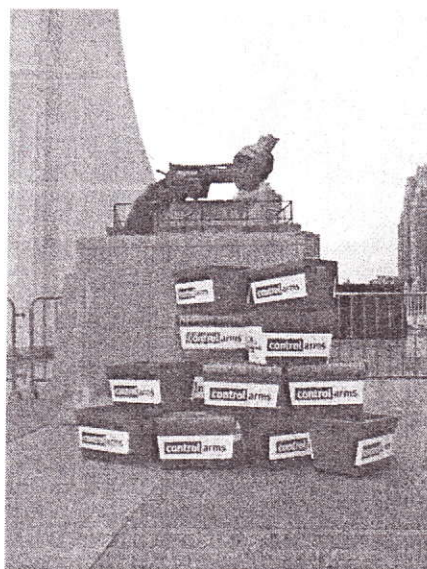
けっしょうも 結晶母

発行:テラ・ルネッサンス 発行日:2006 年8月 1 日

Terra
Renaissance

Topics

「スマイルハウス」での授業が始まりました。



写真上: 国連小型武器会議にて
提出された100万人の顔署名

写真下: 完成した「スマイル・ハウス」(ウガンダ・グル)



■ 結晶母目次

- P01 理事長挨拶
- P02 ウガンダ事業報告
- P04 小型武器関連
- P06 総会報告/NGO 相談員
- P08 事業紹介
(募金箱/インクジェット・書き損じ
はがき回収/web 決済)
- P09 事業報告(1月~7月)
(ツアー/ボランティア事業)
- P10 パートナー団体紹介
(プレマ株式会社/みしまや/
有)リアルスタイル)
- P11 インターン/スタッフ紹介
(卵瀧亜希、現地スタッフ)
- P12 今後の予定/イベント紹介

節目一つ一つを大切に。



事務局のある京都は、暑い日が続いています。小さな事務局で、スタッフ3名、インターン2名、ボランティア多数で、ひしめきいながら活動を行っています。

前回の結晶母をお届けしてから、ウガンダ北部でスマイルハウス(元子ども兵社会復帰促進センター)での授業が始まったり、カンボジアで新規スタッフを雇用するなど、国際協力事業でも大きな変化がありました。

また、国内でも NPO 法人格取得後、初めての総会を行うなど、テラ・ルネッサンスが節目を一つひとつ迎えています。

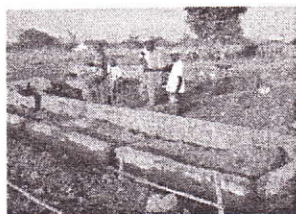
『すべての生命が安心して生活できる社会の実現』に向けて、節目の一つひとつを大切にしながら、活動にまい進してまいります。

理事長: 鬼丸昌也

ウガンダ元子ども兵社会復帰施設「スマイル・ハウス」が完成しました！！現在、第1期生に加えて、第2期生（元子ども兵 23 名）を迎え、職業訓練、カウンセリング、所得向上のためのワークショップなどを行っています。

■「スマイル・ハウス」完成！！

「スマイル・ハウス」の建設には、元・子ども兵をはじめ、たくさんの地域住民にも協力していただきました。そのため建設そのものが、元・子ども兵と地域住民との交流・和解促進にもつながるプロジェクトとなりました。



土台作りに励む作業員たち



レンガを積み上げ、セメントをぬります。



みんなで壁に色をぬります



やっと完成！りっぱな施設ができました

■「スマイル・ハウス」をのぞいてみよう！

●小規模ビジネスのクラス



元アチョリ宗教者平和創設委員会のマーティンが情熱を持って教えてくれています。現在の履修者は第一期受益者 15 名と、その受益者近隣住民の最貧困層 15 名の計 30 名が履修しています。このクラスは訓練の最終段階で、得た技術を元に半年後、訓練を終えて収入向上を始めていくことになります。第一期生も卒業まであと約半年です。無事コースを終了した子どもたちは、半年後（もしくはそれよりも少し早く）小規模融資のシステムを使って自立していきます。

●手工芸（染色）のクラス

スマイルハウスの手工芸クラスでは、受益者が希望する仕事内容と、将来、受益者が地元の村に戻ってからの需要などを検討して、まず染色の授業を始めました。その後、編み物など、様々な手工芸技術を教える予定です。

先生は女性で非常に情熱的で、NGO の活動、ボランティア経験も豊富な明るい先生です。生徒たちも初日から笑い声の中、授業に励んでいました。



●洋裁訓練



洋裁クラスでは、ミシンの扱い方を教えています。初めてミシンを扱う子たちは真剣なまなざしで、糸の通し方からミシンの動かし方まで学んでいました。一人ひとりが楽しそうで、希望に満ちあふれています。しかし、ミシンでの洋裁技術を習得するだけでは市場の競争が激しく、収益を得るのが難しいことが予想されます。そのためスマイルハウスでは、デザインクラスを開設して、市場で好まれるデザインや刺繍用ミシンの扱い方も教えています。

●スマイルハウスでの子ども兵のカリキュラム（例）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:00～10:00	洋裁	洋裁	デザイン	洋裁	洋裁
10:10～11:10					
11:20～12:20					
12:20～13:20	昼休み				
13:20～14:20	小規模ビジネス	基礎教育	平和教育	基礎教育	デザイン
14:30～15:30					
15:40～16:40	個別ガイダンス	基礎教育補習	個別カウンセリング	基礎教育補習	デザイン補習

■自立に向かう元子ども兵

●オコト・ジェームス

ジェームスは最後の戦闘で政府軍の銃撃で目を打たれ失明しています。長年の兵士生活の中で一般市民の殺害なども強要されてきました。そのため、彼の心にトラウマが深く残り、近隣住民から「人殺し！お前が私たちの親戚を殺したんだろ！LRAに帰れ！」などとやじられることもあり、自立することが非常に困難な受益者の一人です。

しかし、私たちに心を開き、自分の中にあるいろいろなアイデアや希望を、打ち明けてくれるようになりました。そして、『目が見えないけど、いろいろなことに挑戦していきたい』と、玄関マット作りを始めました。写真に写っている木枠（正面に座っているがジェームス、右は小川）は、テラ・ルネッサンスで提供し、ロープ、染料などの資材は、彼がこれまで貯蓄してきたお金で購入し、マットづくりに励んでいます。



●アオル・ジャネット

先ほど紹介したオコト・ジェームスの妻。地元 NGO で洋裁技術の訓練を受けたのですが、十分な技術を身につけることができず、収入を得るまでには至っていませんでした。

4 月からスマイルハウスで再度、職業訓練を受けています。訓練期間が終わるまでは、簡単な小規模ビジネスとして、地酒作りに挑戦しています。大きな収益は上げられませんが、穀物を醗酵させ、地酒を作り、今月から少しでも収入を得ようと努力しています。

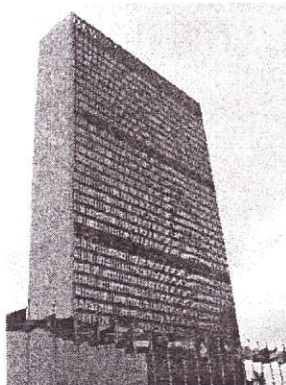
ジェームス、ジャネットともに、自立していくには時間がかかりそうです。それでも自らの力で何かを作り出し、生活を支えていくという喜びを感じながら、地酒作りに取り組んでいる彼女は本当に力強いです。

夫が街に玄関マットの資材の仕入れに行く時も、彼女が自転車の荷台に夫を乗せて、汗だくになりながら自転車をこいでいます。本当に力強い女性です。

ウガンダ事業では、ルネッサンスプログラム・サポーターを随時募集しています！！

ルネッサンス・プログラム・サポーターとは、元・子ども兵が自立するまでの基礎教育・職業訓練経費と期間中の食料・医療費を、1 口 3,000 円/月からご支援していただくサポーター制度です。資料請求は、テラ・ルネッサンス事務局・吉田までお問い合わせ下さい。

(特活) テラ・ルネッサンスは、2006 年 6 月 26 日ー7 月 7 日の期間、ニューヨークの国連本部で開催された小型武器履行検討会議に小川、江角、吉田の 3 名を派遣しました。



■ 国連小型武器履行検討会議、合意文書もなく崩壊!!

今回の会議は、2001年の国連小型武器会議で採択された行動計画に示された内容を具体的に明確化し、行動計画を各国が実際に「行動」に移すことを可能にすることが求められていました。交渉のなかで、アフリカ、ラテン・アメリカ、EU の地域の国々が、小型武器移転（小型武器の取引など）の具体的な基準を成果(合意)文書に盛り込むことを求めました。それに対し、イスラエル、イラン、インド、パキスタン、キューバが強硬に反対しました。日本政府は反対もせず、かといって移転基準を成果文書に含めることを求めることもしませんでした。今後の小型武器会議プロセスについての会合の調整役になった日本政府。文言を弱めようとしたのはアメリカ。しかし日本はアメリカ以外の国々の意見もまとめることができませんでした。結局、今後の小型武器行動計画の見直しについて、何も合意することができませんでした。このままでは次の小型武器会議すら存在しません。

■ 世界がほんの一握りの国々によって人質に…、失望の声

「世界がほんの一握りの国々によって人質にとられたようなものです。現在の推定値を使うと、この2 週間の会議の間に、一万二千人の人が小型武器で命を落としたことになります。これは、彼ら被害者たちへの裏切りです。」（オックスファム・インターナショナル「コントロール・アームズ」キャンペーン・チームのマネージャー、アナ・マクドナルド）

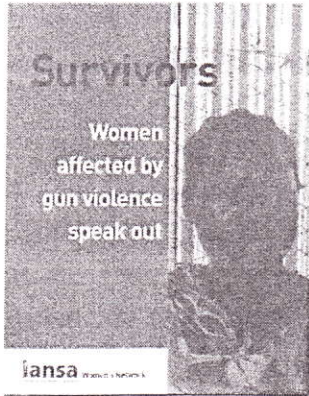
「私は、私が住んでいる北部ケニアに銃が流入するのを止めることを世界各国の政府に求めるために来ました。武器による暴力のせいで、たくさんの友人を失いました。兄弟も失いました。私や、私のような状況に置かれた何百万人もの人々を助けるためのことを、世界は何もしませんでした。私は心のそこから落胆しています。」（アナン事務総長に顔書名を提出したジュリアス・アリル（ケニア））

■ 日本はこの2週間、おとなしかった・・・

〔移転〕（小型武器の取引など） 日本政府は会議初日の演説において、「成果文書が小型武器の移転規制の重要性をとりわけ強調するべきである」とし、公式な演説のなかで初めて武器貿易条約 (Arms Trade Treaty: ATT) に言及をしました。しかし、演説の文言は曖昧かつ弱く、履行検討会議の場で、成果文書に明確な移転基準を含めるための具体的な貢献にはなりません。そして実際の交渉においても、移転に関する具体的な国際基準を、成果文書に明確に挿入することを求めることはありませんでした。「移転の問題について、日本はこの2週間、おとなしかった。これからは、日本はATTを達成するためにイニシアティブをとるべきだ。」と IANSA 事務局のジョセフ・デュベは述べました。



〔履行検討会議後のプロセス〕 履行検討会議後のプロセスに関する分科会は日本が、7月6日まで調整役を担当しました。しかし、会議の最後に各国は履行検討会議後のプロセスにすら合意ができず、成果文書そのものも合意されなくなりました。分科会の交渉は非常に難しい交渉であったことを鑑みても、この分科会についての合意の失敗は、国連小型武器プロセス自体を瓦解させてしまったという点において、多くの関係者の失望と落胆を生みました。



■被害者の声を議場へ

この会議にあわせて発行された IANSA（国際小型武器行動ネットワーク）女性ネットワークのブックレットにテラ・ルネッサンスもウガンダの被害者の声を寄稿しています。テラ・ルネッサンスの受益者の1人であるジャネット・アオルさんは、このブックレットの表紙の写真としても使われました。彼女は7歳から12年間LRA（神の抵抗軍）の子ども兵にさせられました。『私は強制的に銃を持たされ、人々を殺した……。私の銃弾で一体どれだけの人が傷つき、殺されたのか分からない。』という彼女のコメントが被害者の生の声として紹介されています。国連、ニューヨークという小型武器の被害とはかけ離れた会議の場で、先進国の政治家、活動家に現実の被害の実態を伝えることは、現場で被害者と最も近い場所で活動するテラ・ルネッサンス独自の活動です。被害の現場と議場をつなぐ架け橋としての活動にも、今後力を入れていこうと考えています。

■今後の展望＜ATTについても一度議論するために＞

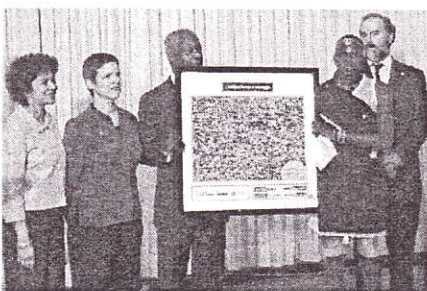
今、「コントロール・アームズ」キャンペーンは、今年10月の国連総会において、国際法上の国家の責任と整合的で厳格な武器移転基準を定めた武器貿易条約（Arms Trade Treaty: ATT）についての交渉を開始する第一歩となる決議が採択されることを求めています。国連総会においては、頻繁に票決で決定されます。今回の履行検討会議と違い、少数の国々によって取り組みの進展が阻止されることもありません。

武器貿易条約（Arms Trade Treaty: ATT）についての交渉を開始する決議を国連総会の第一委員会で議論すべきだ、という意向を、いくつかの国々は既に示しています。



■7月24日、日本政府ATTに支持を表明

今年10月の国連総会でのATTに関する決議案が、履行検討会議後の7月24日、コスタリカ、ケニア、フィンランド、オーストラリア、アルゼンチン、イギリス、日本によって、全ての国連加盟国に提案されました。決議案が国連で議論されるまであと2ヶ月。日本政府は、この決議案の文言の強化のために全力で取り組むことが求められています。



■ミリオンフェイス・キャンペーン100万人突破！！

テラ・ルネッサンスは、2004年からIANSA（国際小型武器行動ネットワーク）のメンバーとして、ミリオンフェイス・キャンペーンを実施していました。「ミリオンフェイス」は、武器の規制を求める世界的な署名キャンペーンです。100万人（＝ミリオン）の市民の「顔」（＝フェイス）を集めることによって、武器規制の視覚的にアピールできます。2006年6月、世界からの顔署名がついに100万に達しました。日本では、約1万名の署名が集められました。そして、6月26日から

7月7日までニューヨークで行われた第1回国連小型武器行動計画履行検討会議で、この署名をコフィ・アナン国連事務総長に届けました。しかし、これで終わったわけではありません。IANSAは、今後も武器の規制を国際社会に求めていきます。ミリオン・フェイスキャンペーンも今年の10月まで続くことが決定しています。まだ参加していない方は、ぜひ参加してみませんか？ホームページから簡単に参加することができます。 URL : <http://www.controlarms.jp/index2.php>

■NPO 法人各取得後、初の定例総会を開催しました。

2006 年 5 月 26 日に、テラ・ルネッサンスは京都府認可の特定非営利活動法人格を取得しました。法人格を取得することは、いわゆる法律上の人格を持ったことになり、更なる公益性の追求が求められます。

法人に義務付けられているもののひとつが、社員（テラ・ルネッサンスの場合、正会員）による総会の開催です。社員総会が、テラ・ルネッサンスの最高議決機関だからです。役員の選出、予算、決算の承認なども、社員総会でのみ行うことができます。

6 月 18 日（日）に東京都渋谷区にて、初めての社員総会を開催しました。委任状を含め、正会員 66 名中、36 名の出席（委任状含む）をいただき、無事にすべての議案を承認いただきました。社員総会で提出した議案（05 年度決算、06 年度予算など）は、テラ・ルネッサンス事務局、京都府庁で閲覧することができます。また、会員様で議案がご入用な方は、事務局までお電話ください。郵送させていただきます。今後も、特定非営利活動促進法の趣旨に則り、公開性、透明性の高い活動を行ってまいります。

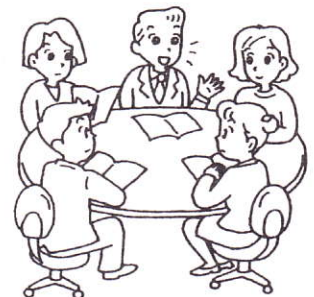
※07 年は、05 月中の総会開催を予定しております。正会員の皆さまに郵送にてご案内いたします。

■新しい役員（理事・監事）が決定

特定非営利活動法人テラ・ルネッサンスの新しい役員が総会で選出されました。任期は 2006 年 4 月 1 日から 2009 年 3 月 31 日までの 2 年間で、理事会での経営方針の確定など、テラ・ルネッサンス運営の重要な役割を果たしていただきます。

〈理事紹介：五十音順〉

江角泰（特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス職員/常任理事/新任）
岡田則子（有限会社アースエネルギー研究所取締役/理事/再任）
小川真吾（特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス職員/常任理事/再任）
鬼丸昌也（特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス職員/常任理事/再任）
中井隆栄（株式会社サピエンスマネジメント代表取締役/理事/再任）
森本倫子（特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス職員/理事/新任）
本田俊雄（弁護士/監事/再任）



■NGO・国際協力に関する相談をお待ちしています！（平成 18 年度 NGO 相談員）

国際協力のことなら...

活用してください！

NGO 相談員

外務省 NGO 国際協力推進課

出前 OK！ 相談無料！

私たちが お答えします！

NGO/NPO ってなに？ どうやるの？
NGO の設立・運営方法？

NGO で働きたい。国際協力に関わるボランティアをしてみたい。

組合や大学の国際・国際協力を担い上げたい。学校で国際協力の取り組みは？

会員を増やしたいけれど、効果的なのは？
NPO 法人格を取得する手続きを知りたい。

テラ・ルネッサンスが「平成 18 年度 NGO 相談員（外務省）」を受託しました。受託期間は 2006 年 5 月 1 日から 2007 年 3 月 31 日までです。とても便利なシステムですので、ぜひご利用ください。

★NGO 相談員とは？

NGO の組織作り、管理運営のノウハウ、国際ボランティアへの参加など国際協力に関することについて、外務省の委嘱を受けた経験豊かな日本の NGO の職員が皆様の相談・質問・照会に対して助言や情報提供を行います。国際協力イベントでの相談コーナーや講演・セミナーの講師など「出張サービス」も実施しています。

■テラ・ルネッサンス NGO相談員紹介

【正担当】：鬼丸昌也（オニマルマサヤ）・・・（特活）テラ・ルネッサンス理事長

＜得意分野＞ 各種講演・セミナー／団体設立方法／資金調達／広報・プレスリリース／組織マネジメント全般

【副担当】：森本のり子（モリモトノリコ）・・・（特活）テラ・ルネッサンス事務局マネージャー

＜得意分野＞ ボランティアコーディネート／平和教育・開発教育／イベント企画・運営／人材マネジメント全般

★その他、カンボジア・ウガンダなどの地域や地雷・子ども兵・紛争・平和構築などの専門スタッフもいます。

■ご相談されたい方は・・・

電話・メール・FAXなどでの問い合わせの他に、面談でお話を伺ったり、出張相談を行うことも可能です。事務局での面談や出張相談をご希望される方は、事前に必ず事務局までご連絡ください。

相談可能時間帯 月～金曜日 10時～18時まで

電話／FAX 075-645-1802 Mail: contact@terra-r.jp

■相談する前に・・・よくある質問リストをホームページに掲載しています。

お電話で相談されたり実際に事務局に訪問いただく前に、ホームページに掲載している「よくある質問」コーナーをお読みいただく事をお勧めいたします。より充実したお話ができるかと思います。

〈たとえばこんな質問が寄せられました。〉

Q：NGOでボランティアをしてみたいのだが、そのキッカケをどのように作ったらよいのかわからない。どうすればNGOでボランティアができるのか？

A：突然それぞれの団体に「ボランティアをしたい」と連絡しても、受け入れが難しかったりするので、次のような手順でNGOにコミットすることを提案します。

- ①どのような場合でも、興味のある団体のことは、ネットなどで活動内容や理念などを丹念に調べておく。
- ②団体の主催イベントなどに参加し、そのイベント終了後、スタッフの人に「そちらの団体の○○の活動に興味があるんですけど・・・」といったことを話しかけてみる。すると、スタッフの人から、メルマガ登録の情報や、ボランティアミーティングなどの情報がもらえる。
- ③上記の情報がもらえたら、間を空けず、ミーティングなどに参加してみる。そうして、顔を覚えてもらう。そこで初めて「この団体でボランティアするにはどうしたらいいですか？」ということ聞いてみる。
- ④最初のボランティアは、自分が望むようなものではなく、単純作業などを任されることが多いが、そのようなボランティアをまかされたときでも嫌そうな顔を見せず、逆に「NGOを運営していく上ではどんな業務があるのか」ということをそこから学ぶ取る。
- ⑤何度か単純作業をして、なおかつそこで「こんなボランティアがしたい」ということを伝え続けると、だんだん希望に近いボランティアをさせてもらえるようになってくる。

■出張サービスをぜひご利用ください

「NGO相談員出張サービス」とは、国内各地で行われる国際協力関連イベントにおける相談ブースの出展や、講演・セミナー・国際理解教育等における講師など、NGO相談員がみなさまの地域に出向いて業務を行うものです。みなさまの地域までの交通費は、外務省が負担いたします。京都府内に限らず、全国各地に出張いたしますので、ぜひ皆様ご利用ください。

※書類手続きの都合上、お問合せは開催希望日の2週間前までをお願いします。



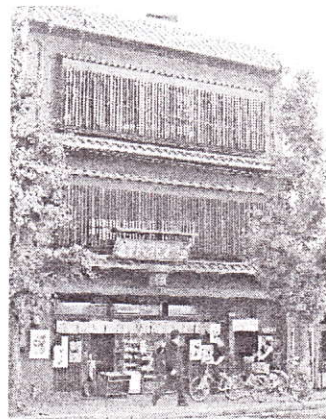
■オリジナル募金箱完成!!設置場所を募集しています。

テラ・ルネッサンスでは、(株)ピュアライフ・ジャパン様 (<http://www.purelife.jp>)のご協力でオリジナル募金箱を製作いたしました。市民の皆さまが気軽にできる社会貢献の場を増やし、日本において“寄付文化”が根付くことを目的として、オリジナル募金箱の設置してくださる方を募集しています。皆

さまの職場、店舗に、学校に、オリジナル募金箱の設置をしていただくことで、ステークホルダー（関係者：お客様、取引先など）への“社会貢献の機会”を提供でき、皆さまのパブリック（公共的な）イメージの向上にもつながると考えております。また、集められた募金は、カンボジアの地雷撤去、地雷被害者の支援、ウガンダの元子ども兵の社会復帰の支援など、テラ・ルネッサンスの取り組む事業に有効に活用させていただきます。

創業明治30年、京豆腐一筋の(有)とようけ屋様(京都市上京区七本松)では、募金箱を5個設置して頂いています。とようけ茶屋は、北野天満宮前にあり、店頭の他にも3階建てのお茶屋の各階に募金箱を設置して頂いて、多くの観光客の方に募金していただく機会を提供して頂いております。ぜひ一度、京都を訪問した際は、名物“からし豆腐”をご賞味ください。

募金箱設置のお申し込み→ http://www.terra-r.jp/katsudo/bokinbako_f.html



(有)とようけ屋 HP
<http://www.toyoukeya.co.jp>

■とっても便利なWEBでの決済、コンビニ振込みができるようになりました！

募金してみたいけれど、銀行や郵便局に行くひまがなくて・・・。

そんな声にお応えして、新しくできた会員制度が『プチサポーター』。ホームページから、気軽にいつでも、地雷除去や元子ども兵の社会復帰のために支援（サポート）ができます。クレジットカードでの決済か、お近くのコンビニエンスストアで会費を払うことができる、オンライン限定の会員制度です。500円から、好きな金額で始められます。たとえば、あなたの“500円”で、5㎡の地雷除去をして、子どもたちの安全な遊び場を確保する（カンボジア）元子ども兵に鉛筆やノートなどの識字教育セットを支給する（ウガンダ）ことができます。

プチサポーターは、下記サイトから。〈 http://www.terra-r.jp/profile/supporter_f.html 〉

■使用済みインクジェットカートリッジ回収／書き損じはがき

昨年8月から始めた使用済みインクジェットカートリッジの回収に、たくさんの方々のご協力くださっています。すでに、総額で10万円程に換金できました。これは、インクジェットカートリッジ155キロに相当します。現在、企業や組合・学校での取り組みをされている団体も多く、中でも「新潟県土地家屋調査士会」様は、新潟県内に12箇所ある事務所全てに回収BOXを置いてくださっています。また、埼玉県自由の森学園のみなさんは、学校全体に呼びかけて、1ヶ月で約40キロほどのインクジェットカートリッジを集めてくださいました。

1月15日～3月末まで行っていた「書き損じはがき回収キャンペーン」では、約1500枚ほどの書き損じはがきが寄せられました。約67500円に相当します。取り組みに協力してくださった方々に、この場を借りて御礼申し上げます。



回収箱を設置してくださっている、新潟県十日町市の二瓶歯科医院様



高雄中学校のみなさんからいただいた地雷廃絶募金を、MAGバタンバンオフィス長に手渡す森本

■カンボジアスタディツアー 2006. 3

3月にカンボジアへのスタディツアーを開催いたしました。これで6回目になるツアーですが、参加者同士のコミュニケーションも、ツアーに内容も、今までで一番実りのあるものとなりました。

参加者には例年通り、プノンペン・バタンバン・シェムリアップの3都市で、様々な問題を見てもらいましたが、中でも孤児院「ピースフル・チルドレン・ホーム」のこどもたちとの交流が、印象に残った参加者が多かったようです。

参加者の一人である鍵谷健さんは、帰国後この孤児院に、

40万円の寄付をされました。(パートナー団体紹介参照)

また、毎年地域全体での取り組みを続けてくださっている京都市立高雄中学校のみなさんから預かった「地雷廃絶募金15万円」は、提携団体であるMAG(地雷撤去団体)に、全額提供いたしました。今回の地雷原見学では、スタッフの森本が地雷爆破処理のスイッチを押させてもらうなど、通常ではできない体験もさせてもらえました。

■ボランティアの活動を活発化させます！ボランティア事業がたちあがりました。

テラ・ルネッサンス、「ボランティアが主体的に活動できる国際協力団体」を目指して、ボランティアがボランティア活動を自主的に運営していく事業をたちあげました。テラ・ルネッサンスで中期インターンを経験し、カンボジア・ウガンダ両国の現場を見学したことのある山根実紀さん(龍谷大学院在学)が、コーディネートを担当してくれています。いろんな想いを持った人が、その人に合った関わり方ができるように、ボランティアのシステムも整えつつあります。

たとえば、こんな関わり方が可能です。

【コアボラ】・・・コア・ボランティア

ボランティア事業の運営にがっつり関りたい方

【PJボラ】・・・プロジェクトボランティア

テラ・ルネのイベントやプロジェクトに関りたい方

【ちょいボラ】・・・ちょびっとボランティア

簡単な作業などのお手伝いをしたい方



祇園祭で元気に団扇をくばるボランティア

祇園祭では、テラ・ルネッサンスのロゴや活動紹介が載せられてある団扇1000枚を、総勢7名のボランティアで配りました。雨が降る中、傘を差しながらの配布でしたが、ものの1時間足らずですべてを配り終えることができました。当日参加してくれたのは、テラ・ルネッサンスでのボランティア初体験の入も多かったのですが、大きな声でテラ・ルネッサンスをアピールしながら団扇を配り、一般の人からテラ・ルネについて質問されると、嬉しそうに受け答えしている姿が印象的でした。

これから秋にかけて、テラ・ルネッサンスでは大きなイベントが目白押しになっています。これらのイベントが、ボランティアのアイデアでよりよいものになるように、事務局での受け入れシステムも整えていきたいと思っています。

■(有)Real・Style 様 チャリティセミナー開催、収益全額ウガンダの施設建設へ

2006 年 3 月にカンボジア・スタディ・ツアーへ参加していただいた(有)Real Style の鍵谷健さんが、情報企業家による世界救援ライブを 5 月 13 日、東京で、21 日、大阪で開催してくださり、セミナーの収益全額 502 万円をご寄付くださいました。ご寄付頂いた資金は、ウガンダでの元子ども兵の社会復帰支援のための施設建設に使わせていただきます。セミナーはどちらの会場も一杯になり、会場でも参加者の方々からたくさんの寄付を頂きました。鍵谷さんをはじめとした講師の方々、セミナーに参加してくださった皆さん、ご寄付していただいた皆さんに心より感謝申し上げます。ウガンダの元子ども兵社会復帰施設の建設は、HP や機関紙などで進行状況を報告していきます。セミナー詳細はこちら → <http://seikouhousoku.com/seminar/20060513/index.html>



また、鍵谷さんより、スタディツアーで訪問したカンボジアの孤児院ピースフル・チルドレン・ホームⅡにも 4 月に 3400 ドルをご寄付いただきました。資金は 5 月 2 日に、テラ・ルネッサンスのスタッフがピースフル・チルドレン・ホームⅡを訪問し、この孤児院のマネージャー・チョオン・オウク氏に手渡しました。カンボジア北西部バタンバン州にある孤児院ピースフル・チルドレン・ホームⅡは、元副国会議長のソン・スベール氏が設立したクメール財団によって 1997 年に設立、運営されています。現在、ストリートチルドレ

ンや HIV 感染によって両親もしくは片親を失ってしまった子ども達 64 名が生活しており、小学校へ上がる前の子どもから高校へ通う子どもまでいます。今回届けた寄附金は、緊急に必要な子ども達の食べ物を買うお金として使います。この施設では、子ども達が畑で野菜を栽培したり、家畜を飼育して自給していますが、昨年の水不足で作物の収穫が少ない状況でした。そのため、『この寄附は本当に緊急にお金が不足している中で提供してもらえたので、とても感謝している』と孤児院のマネージャー、オウク氏は、述べていました。



■蚊取り線香 400 個を寄贈くださいました。(プレマ株式会社様)

カンボジア事業を支援くださっているプレマ株式会社様(代表取締役：中川信男様)から、蚊取り線香 400 個を寄贈くださいました。この蚊取り線香は、ウガンダでの避難民キャンプで配布する支援物資として、またテラ・ルネッサンスの現地事務所で活用させていただきます。

プレマ株式会社様は、今回のジャワ島大地震救援のために、チャリティーセールを行われるなど、熱心に社会貢献活動に取り組まれています。同じ京都に、志高い企業がパートナーとして存在することが、私たちにとって大きな支えとなっています。

■スーパーのチラシにテラ・ルネッサンスの活動が紹介。(有限会社みしまや様)

スーパーのチラシにテラ・ルネッサンスが掲載されているのは、テラ・ルネが商品として掲載されているわけではありません。団体会員である有限会社みしまや様(代表取締役：三島敏功様)が新聞折込されているチラシに、テラ・ルネッサンスの活動が紹介されました。今後、定期的にご紹介いただく予定です。また、●月●日付の読売新聞島根版にも、ユニークな社会貢献活動として紹介されました。つね日ごろ、私たちは関心を持っていただくことの大切さを訴えてきました。今回、みしまや様がご自身の持っている資源(リソース)を使って、私たちの活動を松江市民の皆さまにお伝えくださることは、何よりもありがたいことです。ぜひ、松江市民の皆さま。今後のみしまや様のチラシを楽しみにおまちください！

テラ・ルネッサンスではここ最近インターンの活躍が際だっています。ボランティアとは異なり業務の担当などを任せる分、責任を持った仕事を求められますが、それぞれの得意分野や個性を活かしてテラ・ルネを盛り上げてくれています。

■インターン生 卯瀧 亜希さん（立命館大学応用人間科学研究科在学）



今年の4月からインターンをさせていただいている卯瀧亜希です。幼いころから戦争というテーマに興味を持ち続け、大学では国際関係学部で平和学を学びました。大学在学中に、戦争・紛争を体験した人々の心の傷に触れたことから、社会という大きな枠組みだけではなく、戦争が与える個人への影響を勉強しようと思い、大学院では、戦争体験者への援助について研究しています。

援助を考える際には、机上の論理だけではなく、現場から学ぶ視点がとても重要になります。そこで、テラ・ルネッサンスが行っているカンボジアやウガンダでの元兵士への援助を通して、現場でどのような援助がなされているのかや、その援助のために一人一人に何ができるのかをインターンシップを通して学んでいます。援助を行うという一連の流れを学ぶことによって、自分が研究していることを広い視野で捉えられるようになってきました。

今後も、担当業務であるパネルのレンタル事業や物販管理、現地スタッフへの精神保健の情報提供などの仕事を通して、テラ・ルネッサンスを支えていきたいと思っています。精一杯、頑張りますので、よろしくお願いします。

NGO にとって、現地に信頼できるスタッフがいるかどうかは、とても大きな問題です。テラ・ルネッサンスのカンボジア事業を担ってくれている、頼もしいスタッフを紹介します。

■カンボジア（バタンバンオフィス）現地人スタッフ クン・チャイさん

2006年4月からカンボジアにおいて（特活）インターバンドのスタッフ兼任でクン・チャイ氏を現地スタッフとして雇用しています。彼もまた多くのカンボジア人と同じように、1975年から始まるポル・ポト政権下や約30年にわたる内戦を生き抜いてきました。子ども時代には、クメール・ルージュの子ども兵にされた経験を持っています。『家族はバラバラにされ、友人と逃れたタイ国境の難民キャンプでもタイ国軍兵士に固いブーツで足蹴にされた。毎日爆弾が落とされ、多くの人が死んでいった』とも語っています。そうした過去の辛い経験を背負いながらも、バイクタクシーや様々な国際NGOスタッフとして働き、家族を養ってきました。1999年からは（特活）インターバンドのプロジェクト・コーディネーターとして、常駐の日本人スタッフが不在の中、除隊兵士支援プロジェクトをとりし切ってきました。あまり過去を語りたがらない除隊兵士が多い中、共感できる体験を持つ彼には心を開く者も多いです。これから今までの経験をテラ・ルネッサンスの活動にも役立てて欲しいと思っています。



■8月～9月の予定

★は一般参加可のイベントです

- ★08月04日(金) 講演: とよなか人権文化まちづくり協会(大阪)
- ★08月05日(土) 講演: 10代を真剣に考える1日(東京)
- ☆08月06日(日) 講演: (社)名古屋青年会議所(愛知)
- ★08月21日(月) 放送: NHK ラジオ「ラジオ深夜便」
- ☆08月23日(水) 講演: 立正佼成会沖縄教会(沖縄)
- ★08月24日(木) 講演: 小規模作業所なんくる(沖縄)
- ★08月26日(土) 講演: 元気倶楽部(愛知)
- ★08月28日(月)～09月05日 カンボジアスタディツアー
- ★09月09日(土)～10日(日)
- 出展: 松緑神道大和山チャリティーバザー(青森)
- ☆09月12日(火) 講演: 生駒市小中学校教頭会(奈良)
- ☆09月17日(日) 講演: 日本CLC(長崎)
- ☆09月22日(金) 講演: 京都市立旭丘中学校(京都)
- ★09月24日(日) 講演: ハンドベル(京都)



NHK「ラジオ深夜便」に理事長が出演します。40分間ですが、活動を始めたきっかけ、ウガンダ北部の様子などをお話します。放送日は8月21日深夜1:00から。NHKラジオ第一放送で放送されます。

テラ・ルネッサンス主催イベントへのお問い合わせは、
テラ・ルネッサンス事務局(担当/鬼丸・森本)までお願いします。

一緒にテラ・ルネッサンスを造っていきませんか(会員募集)

テラ・ルネッサンスは世界平和の実現を目指す市民団体です。テラ・ルネッサンスの趣旨に賛同される方は、ぜひメンバー登録をお願い致します。

【会員特典】・会報誌「結晶母」等の贈呈・テラ・ルネッサンス主催のイベントへの優待 など

【会員

種別】

正会員	●正会員	30,000円/年
賛助会員	●個人会員	3,000円/年
	●ジュニア会員(18歳まで)	1,000円/年
	●団体会員	50,000円/年
ファンクラブ会員	●理念に賛同し、月単位で継続支援される方	1,000円/月

郵便振替 00950-7-133760

加入者名 テラ・ルネッサンス基金

Purelife
Japan

FOR YOUR QUARITY TIME

<http://purelife.jp>

『結晶母』は株式会社ピュアライフジャパン様の広告協賛で作られています

【編集後記】(事務局: 森本のり子)

前回、2ヶ月に一度のペースで結晶母を出すようにする、と言っておきながら、早速守れませんでした。。。今度こそ、今度こそ、定期的に出せるようにします。システムもばっちり整えました。頑張ります!

【編集・発行】

特定非営利活動法人 テラ・ルネッサンス
612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町 5-23-105
tel/fax: 075-645-1802 e-mail: contact@terra-r.jp
URL <http://www.terra-r.jp>



本誌はリサイクルや地球環境に配慮した大豆油インクを使用しています